

こんにちは 婦人会です

お暑うございます。全国的に早めの梅雨明け宣言がされてから、猛暑が続いています。今年は、節電で扇風機が良く売れているようです。この暑さで、我が家の献立は麺類が多くなりました。と友人にメールをしたら「そうめんは、茹でて水洗いする段階で糖質以外の栄養素が多く流出してしまうから、季節の野菜や肉、卵など栄養のバランスも考えてね～」と返事がきました。そういえば麺類だけの時が多かったかな？

～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日「われは海の子」という童謡の三章目を聞いていましたら、「高く鼻つくいその香に、不断の花のかをりあり～」 不断の花？って・・早速インターネットで検索してみました。



「不断の花」は、花期が長いことから名付けられた不断桜。真夏以外の四季を通して枝のどこかに花や葉を付けている珍しい桜の木。冬から4月中旬にかけて真っ白い可憐な花が咲くそうです。三重県鈴鹿市の子安観音寺境内に植えられており、大正12年に国の天然記念物に指定されています。また、この桜には興味深い話もありました。（高野姫・高野天皇）と称された孝謙天皇が、枯れない桜の話聞き宮中に植え替えさせたところすぐに枯れてしまい、その後また子安観音寺に戻したところ花を咲かせるようになったそうです。



子安観音寺境内の不断桜です。

インターネットより引用

桜台婦人会
平成23年7月20日
第114号